

【助産診断・技術学】

科目名	周産期の診断と技法	講師名	①専任教員 (2)	学年	1	履修期	第1学期							
単位	2単位		②岡山医療センター医師A (19)											
時間数	45時間		③岡山医療センター医師B (4) ④岡山医療センター医師C (5) ⑤岡山医療センター医師D (7) ⑥岡山医療センター医師E (2) ⑦岡山医療センター医師F (4) ⑧岡山医療センター医師G (2)											
講師実務経験	講師①助産師としての実務経験あり													
授業概要	周産期の助産診断に必要な診断の基礎的知識と技法を理解する。													
授業科目目標	1. 周産期における正常からの逸脱、異常についての病態・診断・治療を理解できる。 2. 医療介入及び産科的処置を受ける対象者へ適切な支援を行うための基本的な技術を習得できる。 3. 周産期及び新生児の異常発生時の適切な初期対応の知識と技術を習得できる。													
授業内容	講師① 2時間 第1回 1. 分娩の生理 講師② 19時間 第2～5回 2. 妊娠期の異常 第6～8回 3. 分娩期の異常 第9～10回 4. 産褥期の異常 講師③ 4時間 第11～12回 5. 産科処置・産科手術・産科救急 (会陰縫合演習) 6. 周産期の超音波診断法、ME機器によるモニタリングの判読法 7. 産科麻酔・無痛分娩 講師④ 5時間 (試験1H含む) 第13回 8. 新生児の生理と病態 1) 新生児学総論 第14回 9. 新生児のフィジカルイグザミネーション 1) 新生児の系統的診察法 成熟度評価 講師⑤ 7時間 第15回 8. 新生児の生理と病態 2) 新生児の胎外生活適応・生理(1) 第16回 3) 新生児の疾患 4) 新生児の異常症状 呼吸障害、チアノーゼ、けいれん、低血糖、嘔吐、腹部膨満 麻痺、発熱、低体温、頭血腫、心雑音、なんとなく元気がない 第17～18回 10. 新生児の評価と蘇生の実際 (演習) 3H 1) 新生児の健康度の評価と蘇生法 (理論) 2) NCPRの実際 (演習) 講師⑧ 2時間 第19回 8. 新生児の生理と病態 5) 新生児の胎外生活適応・生理(2) 新生児期の母乳育児支援 栄養障害					講義	講義	演習	講義	講義	講義	講義	講義	講義

【助産診断・技術学】

授業内容	<p>講師⑥ 2時間 第20回 9. 新生児のフィジカルイグザミネーション 2) 新生児マススクリーニング</p> <p>講師⑦ 4時間 第21回 11. ハイリスク新生児の管理 1) 低出生体重児の成長発達 2) 低出生体重児の特徴と治療</p> <p>第22回 3) ハイリスク新生児の疾患と治療 呼吸窮迫症候群 (RDS)、胎便吸引症候群 (MAS)、一過性多呼吸 (TTN)、高ビリルビン血症、低酸素性虚血性脳症、胎児循環遺残</p> <p>終了試験 1H</p>	<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p>
評価方法	筆記試験 講師① 10点 講師②③ 60点 講師④～⑧ 30点	
テキスト	<p>助産学講座6 助産診断・技術学Ⅰ 妊娠期 医学書院</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期 医学書院</p> <p>助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ 新生児期・乳幼児期 医学書院</p> <p>新生児学入門 医学書院</p> <p>助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会</p>	
参考書	日本版救急蘇生ガイドライン2025に基づく新生児蘇生法テキスト メディカルビュー社 他	
学生へのメッセージ	本講義では、妊娠～分娩～産褥期および新生児期の正常からの逸脱および異常の病態・診断・治療について医学的知識を身につけ、助産診断を行う際の臨床推論の基盤をつくります。テキスト以外にも参考書など照らし合わせ、確実な知識を身につけて下さい。	